

2024 年 2 月吉日

PRESS RELEASE



川崎市 岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

常設展 「人のかたち：岡本太郎の人体表現」

2024 年 1 月 20 日(土)~4 月 14 日(日)

岡本太郎の人体表現

常設展 人のかたち

2024.1.20 sat
-4.14 sun

[開館時間] 9:30~17:00 (入館は16:30まで)
[休館日] 月曜日(2月12日を除く)、2月13日、3月21日
[観覧料]

展示期間	一般	高・大学生・65歳以上	中学生以下
1月20日(土)~2月16日(金) 常設展のみ開催	500(400)円	300(240)円	無料
2月17日(土)~4月14日(日) 企画展とのセット料金	700(560)円	500(400)円	無料

●()内は20名以上の団体料金
●企画展「第27回岡本太郎現代芸術賞」開催中(2月17日~4月14日)は企画展とのセット料金となります。

川崎市 岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

〒214-0032 川崎市多摩区狛形7-1-5 生田緑地内
Tel.044-900-9898 <https://www.taromuseum.jp>

公式SNSはこちらからどうぞ

美術館HP Facebook Instagram Twitter

1(作家)1936~37年「消失作品」、2(顔)1952年、3(午後の日)1967年、4(美女と野獣)1949年、5(よろこび)1982年、6(こどもの顔)1985年、7(華なまき国)1936年「消失作品」、8(作家)1948年

PRESS RELEASE

川崎市 岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki



岡本太郎《作家》1937 年[消失作品]



岡本太郎《作家》1948 年

展覧会概要

原色の鮮やかさやテーマ性が強い作品だからでしょうか、“人物を描く”という印象があまりない岡本太郎ですが、初期のパリ時代から晩年まで、描かれているテーマや中心となるモチーフの多くは、人の姿や顔、眼、そしてその内面を含めた人間の在りようです。

岡本の絵の中に描き出された人々の姿を追っていくと、時代によってかなりの変遷が見られます。パリ時代の《傷ましき腕》以降に描かれた消失した作品群では、意外にもオーソドックスな具象的に描かれた人物が多いのですが、アヴァンギャルドの旗手として活動を始めた戦後には、デフォルメされ、ユーモラスに擬人化されたキャラクターのような人間や、ピクトグラムのように記号化された形が目を引きまします。1960 年代に入ると、より抽象の度合いが強くなり、線のみでカリグラフィックに構成された画面に変わり、そしてその後は、人間の存在そのものを顔や目のモチーフで表現していく時期に移っていきます。また絵画だけでなく、《太陽の塔》をはじめとする立体やモニュメントのモチーフにも、人の姿をかたどった作品はじつはとても多いのです。

初期の代表作《傷ましき腕》から展開していったパリ時代の消失作品の流れも含めて、岡本太郎が描いた人のかたち、表現のヴァリエーション、その幅の広さにもぜひご注目してご覧ください。

開催概要

会 場：川崎市岡本太郎美術館 常設展示室

会 期：2024 年 1 月 20 日(土)～4 月 14 日(日)

主 催：川崎市岡本太郎美術館

休 館 日：月曜日(2 月 12 日を除く)、2 月 13 日(火)、3 月 21 日(木)

観 覧 料：1 月 20 日(土)～2 月 16 日(金) 常設展のみ開催

一般 500(400)円、高・大学生・65 歳以上 300(240)円、中学生以下は無料

2 月 17 日(土)～4 月 14 日(日) 企画展とのセット料金

一般 700(560)円、高・大学生・65 歳以上 500(400)円、中学生以下は無料

※()内は 20 名以上の団体料金

※企画展開催中は、企画展とのセット料金に変わります。

同時開催：企画展「第 27 回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」 2024 年 2 月 17(土)～4 月 14 日(日)



みどころ

●岡本太郎が描いたさまざまな人物表現を、時代を追ってご紹介します。

時代によって変遷していく岡本の画風を、人物の描き方に焦点を当ててご紹介する展示構成です。《傷ましき腕》《夜》《重工業》などの代表作とともに、消失したパリ時代の作品を原寸大パネルで展示することで、若き日の岡本の貴重な作例ともあわせてご覧いただけます。絵画だけではなく、彫刻作品、レリーフなどにも幅広く登場するモチーフを、ぜひ展示室で探してお楽しみください。

●作品とあわせて、岡本太郎の言葉もご紹介します。

岡本の著作の中から、作品やテーマに関連した文章をご紹介します。《傷ましき腕》について「具象と非具象のからみあい、人間存在全体のコントンとした情感」をぶつけた作品だと述べています。若き日に哲学や民族学を学んだ岡本の描く人間像は、単なる表面上のモチーフにとどまらない、内面や葛藤の表出でもあるのでしょう。「眼にふれ、手にさわる、すべてに猛烈に働きかけ、体当たりする。ひろく、積極的な人間像を自分自身につかむために。」言葉とあわせてご覧いただくことで、作品への共感・理解が深まります。

●本展は、写真撮影可能です。

(動画撮影、フラッシュ撮影、三脚・自撮り棒・ジンバル等の器材の使用は不可)

主な出品作品(予定)

- ・油彩 《傷ましき腕》《夜》《重工業》《作家》《美女と野獣》
- ・彫刻 《顔》《午後の日》《こどもの樹》
- ・レリーフ 《天に舞う》《躍進》
- ・その他 パリ時代の消失作品原寸パネル



《幸なき楽園》1936 年[消失作品]



《傷ましき腕》1936(1949)年



《重工業》1949 年



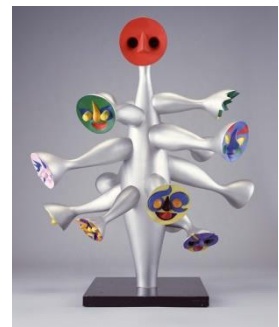
《美女と野獣》1949 年



《午後の日》1967 年



《天に舞う》1974 年



《こどもの樹》1985 年

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当: 佐藤 広報担当: 山内(pr@taromuseum.jp)
〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区枳形 7-1-5 生田緑地内
TEL: 044-900-9898 / FAX: 044-900-9966 <https://www.taromuseum.jp>



PRESS RELEASE



川崎市 岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

関連イベント

●ワンポイント トーク

担当学芸員が常設展示の展示解説を行います。

日 時 3 月 10 日(日)、4 月 13 日(土) 14:00～
場 所 常設展示室
料 金 無料(要観覧料)
申 込 不要。開始 5 分前に常設展示室にお集まりください。



●大・河童祭

岡本太郎美術館 オンラインコンテンツ・どこでも TARO アトリエで公開中の
”第 27 弾「カンタン！河童帽」”をうちで作って被って遊びに来ると、オリジ
ナルシールをプレゼントします！（参加者 1 名につき 1 枚）

日 時 3 月 2 日(土)、3 日(日) 9:30～16:30
対 象 どなたでも
配布場所 岡本太郎美術館 受付
料 金 無料(要観覧料)



河童帽

●人のカタチを描こう！

太郎さんの表現する人を鑑賞し、自分なりの人のかたちを絵画制作します。
「人を描く」「人に描かれる」体験を通して、「人」に対しての考えを深め、描く楽しさと
人の作品をみて一緒に創作を楽しみましょう！

日 時 3 月 20 日(水祝) 13:30～15:30
対 象 小学生～大人 * 未就学児は不可
定 員 10 名
場 所 常設展示室・創作アトリエ
料 金 300 円＋観覧料
申 込 電話受付(3/6(水)10:00 から受付開始)、先着順



●「蘇る VR 太陽の塔 Ver.6」

大阪万博で岡本太郎が担当した《太陽の塔》は、彼の代表作品として
知られ、現在でも多くの人びとに親しまれています。

今回のイベントは、日本工業大学の学生が製作、再現した 1970 年当時
の《太陽の塔》VR を見学するものです。

蘇った《太陽の塔》を体感してみませんか。

日 時 3 月 9 日(土)・10 日(日) 11:00～16:00
場 所 ガイダンスホール(VR 体験)
協 力 日本工業大学情報メディア工学科



太陽の塔

★3/9・10 は、ゴーグルを装着して VR 体験ができます！

★常設展会期中は、常設展示室で VR 体験映像の 2D 版上映を行います。